

「バイオものづくり革命推進事業」プロジェクトに関する意見

公益財団法人地球環境産業技術研究機構 殿

令和6年12月6日

産業構造審議会 商務流通情報分科会 バイオ小委員会
バイオものづくり革命推進ワーキンググループ

本ワーキンググループで実施した議論を踏まえ、貴機構におかれては、プロジェクト推進に当たって以下の点に留意のうえ、今後のモニタリングにおいて、その対応について報告されたい。

- ・ 経営のコミットメントに関して、経営側での課題感が見えにくい。現状で行き詰まっている点と解決の方向性も示していただきたい。
- ・ ルール形成や標準化に関しては事業の海外展開の視点を入れて検討すべき。
- ・ オープン&クローズ戦略について、特に、クローズ戦略の部分で、技術をノウハウとして秘匿化し、特許化はしないという方針を示されているケースが見られたが、社内での適切なノウハウ管理を行うことを前提としつつ、海外含む他社による知財化のリスクも勘案しながら開発を進めてほしい。
- ・ 微生物・細胞設計プラットフォーム（以下、「PF」という。）企業として事業を拡大していくための戦略を検討してほしい。その際、オープンなPFとしてどのように展開していくかなども意識しながら検討すること。
- ・ 国内外にもPF企業が競合する中、持続的に事業を実施するためのプランを整理し、そのために必要な取組を経営側でも検討してほしい。

以上